

17高虫防第55号  
平成17年7月29日

各位

病虫害防除所長

平成17年度病虫害発生予察技術情報第7号（ハスモンヨトウ）について

フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数は、県東部から中央部の安芸市、野市町及び南国市においては6月より平年より多めで推移しています。特に安芸市、野市町では平年を大きく上回っており、発生の多かった昨年と同程度の誘殺数となっています（図1）。

また、県農業技術センター（南国市）における卵塊数調査でも、7月第4半旬以降、急増しています。（図2）。

県中西部、西部は平年並み誘殺数で推移していますが、向こう1ヶ月の気象予報によると、気温は平年並みか高い、降水量は平年並みと予想されていることから、今後、全般的に密度の上昇が予想されます。特に、ショウガ、オクラ、ダイズ等の露地作物や果菜類の育苗ハウスなどでは発生に注意してください。

なお、病虫害防除所ホームページ（発生状況速報）ではフェロモントラップ調査結果等を随時更新していますので、参考にしてください。

ホームページアドレス：<http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/byoki/boujoshou/index.html>

問い合わせ先  
病虫害防除所 杉本、西  
TEL 088-863-1132

図1：各地区のフェロモントラップにおけるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺数（7月5半旬まで）

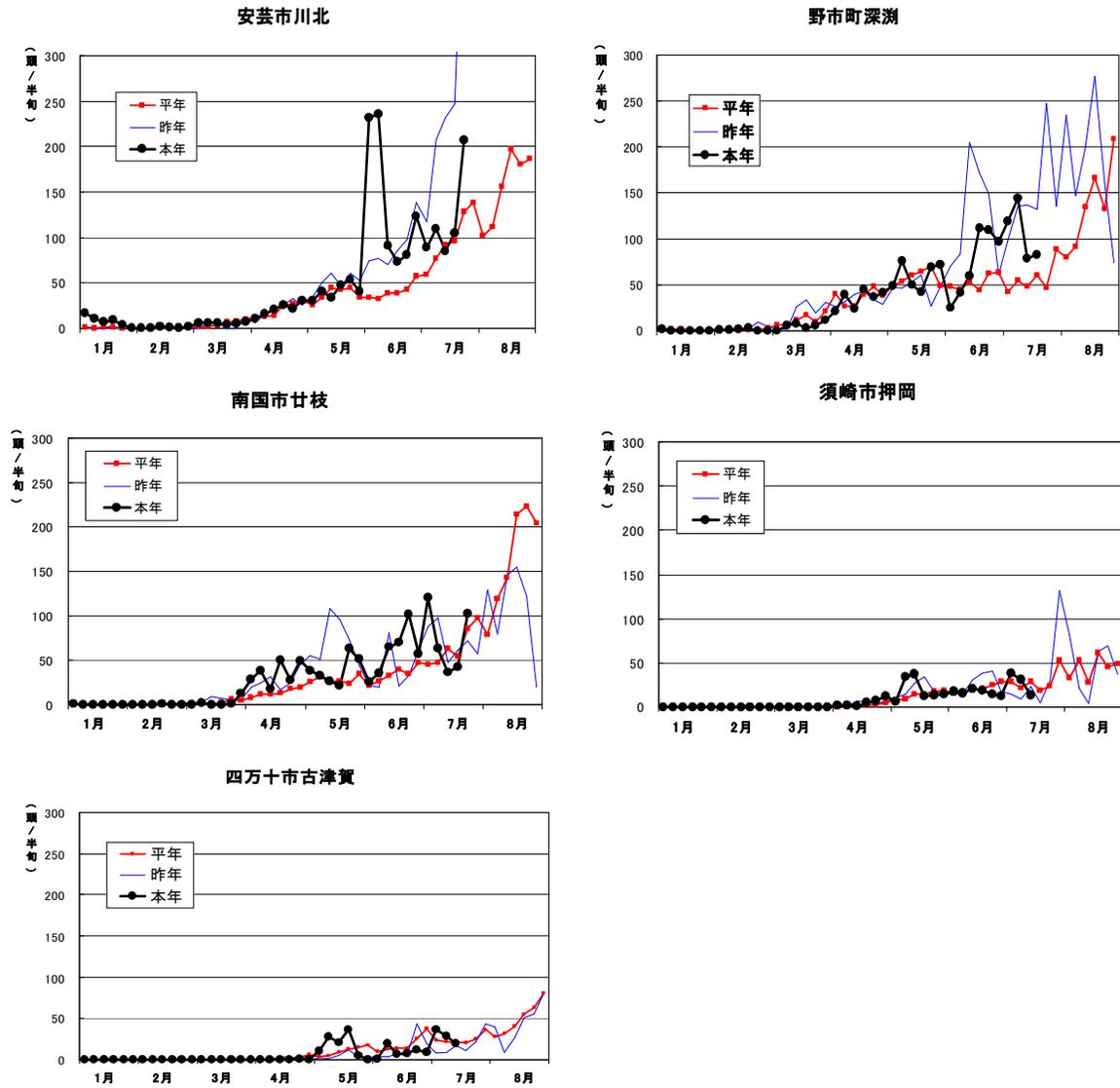


図2：サトイモにおけるハスモンヨトウ卵塊数（南国市、農業技術センター内）

